

No. 12
31 Jul. 2006

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成18年7月31日

編集 NPO法人日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL 03-5216-3555 FAX 03-5216-3556

マイケル・ソマレ首相、東京国際大学で講演

“繁栄と安全保障のためのパートナーシップ”

東京国際大学2C 教務課長 細川和秀

「第4回日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議」出席のために来日されたソマレPNG首相が5月24日東京国際大学を訪問されました。東京国際大学は、パプアニューギニアと日本および本学との学術・文化交流の発展に寄与された同首相の功績に敬意を表し、名誉博士学位を贈呈致しました。これに対し、同首相は、本学学生、大学関係者並びに日本・パプアニューギニア協会関係者など約850人を前に、「経済的繁栄と安全保障へのパートナーシップ」と題する講演を行い、大きな感銘を与えました。

名誉学位授与式および記念講演会は、本学吹奏楽団がPNG国歌を奏でる中、本学金子泰雄理事長・総長の式辞、荒井孝昌学長の頌辞等があった後、ソマレ首相に対する本学名誉博士号及び記念品の贈呈という形で厳かに執り行われました。これに対し、ソマレ首相からは謝辞をいただき、講演が始まりました。

講演の中で、ソマレ首相は、「日本とPNGのパートナーシップが互いの繁栄と安全保障をもたらしてきた。PNGには天然資源が豊富であるが、日本のような技術力に優れたパートナーが必要である。今後も益々関係を深めていきたい」と強く訴えられました。

講演終了後、和服姿の本学女子学生3名からソマレ首相、マウエ駐日大使、同夫人に花束が贈呈され、混声合唱団「シエロ」による校歌が響き渡る中、首相は会場を後にされました。しかし、首相一行が退席された後も拍手が鳴り止まず、また、校庭で待ち受けていた学生たちからも一斉に拍手が起こるなど、キャンパスは大きな興奮に

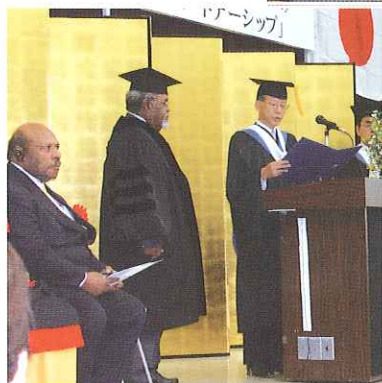
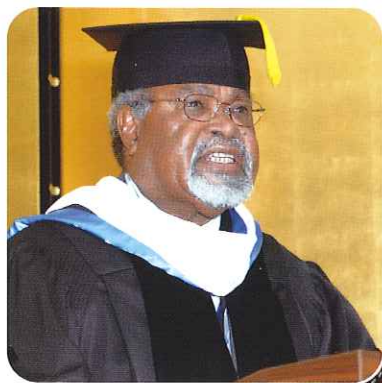
包まれました。

ソマレ首相の来学および講演会は日本・パプアニューギニア協会をはじめ多くの方々の協力を得て実現したのですが、本学がこれまで実施してきたPNGとの友好・学術・教育交流が基礎となっています。国際関係学部は、教室における講義とフィールド(現場体験)の連携強化を目指す「国際教育プログラム」を教学の柱に据え、その一環としてPNGにおける研修プログラム(毎夏、学生20名を派遣)を実施しています。ソマレ首相も、このPNGプログラムに対して、ご講演の中で「両国の理解と友好を強くする上で非常に重要であり、今後も互いの関係強化・促進のために積極的な役割を担って欲しい」と期待を述べられましたが、これは本学学生、教職員にとって大きな励みとなります。

首相が本学を訪れ、学生に直接語り掛けられたことは、海外プログラム参加者だけでなく、本学の全学生、また、日本の若者たちに大きな感銘を与えたと思います。首相は、次代を担う日本の若者たちに、日本・PNG関係の発展と日本が国際社会で果たす役割等について深く考える大変有意義な機会を与えてくれました。私たちは、海外プログラムその他を通して、今後もPNGと日本の若者の交流を推し進めていきたいと考えております。

最後に、ご尽力をいただきましたマウエ駐日大使並びに谷口会長、島田事務局長はじめ日本・パプアニューギニア協会の方々にこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

名誉博士学位授与式および記念講演



名誉博士学位を贈呈

熱心に講演に聞き入る聴衆

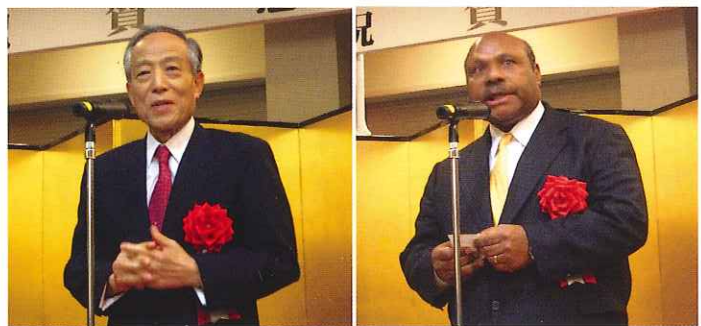
女子学生から花束の贈呈



祝賀懇親会

式典及び講演会終了後、場所をカフェテリアに移し、祝賀懇親会を日本・PNG協会協賛の下に執り行いました。

荒井孝昌学長の挨拶後、同協会谷口誠会長より、「個人と個人の交流が大切であることはもちろんであるが、これからは南太平洋を含めたアジア全体の人材交流が特に重要である」という貴重なお言葉を頂きました。次にマイケル・マウエ大使より、「ソマレ首相が南太平洋の首脳として学位を授与されたことは、同国人としてとても誇りに感じている。また、東京国際大学の国際教育プログラムは実に素晴らしい」というたい



日本・PNG協会 谷口会長とマウエ大使のご挨拶



倉田副理事長の乾杯音頭



大変和やかだった祝賀懇親会

へん嬉しいお祝辞を頂きました。最後に、国会開催中のためご欠席されました日本・PNG友好議員連盟会長伊藤公介先生の「これからも両国のさらなる友好のために頑張ってもらいたい」という祝電が読まれ、倉田信靖副理事長の音頭で乾杯となりました。

その後は立食形式で懇談となりましたが、ソマレ首相、マウエ大使、谷口会長もお客様の輪の中に入って下さり、懇談は終始なごやかに執り行われました。後日、お客様より「ソマレ首相が直接話しかけて下さり、たいへん嬉しかった」というお言葉を頂きました。

SERIES

パプアニューギニア 蘭紀行 ②

伊東 浩(当協会会員)

東ハイランド州、ツボロッジ、標高900〜1,000m、湖の小島。

2001年、神秘的な湖クツブ湖に、未知のデンドロビウムを求めて、マラリヤ蚊を気にしながら、寝袋、蚊帳を持参して5日間滞在した。

ポートモレスビーからマウントハーゲン経由、モロ空港、最近ではポートモレスビーから直行便もでている。モロ空港はChevron Oilカンパニーによって開かれた町である。まだ電話がツボロッジにはないので、空港に有線で迎えに来てもらうしか方法がない。湖を丸木船の船外機付で約1時間、船着き場から空港まで40分ほど掛かる。オーナーはMr. Noman Ba'abi。彼はエアニューギニアに勤めていてポートモレスビーに住んでいたが、現在は退職してモロに帰っている。



クツブ湖の夕日



デンドロビウム フルギダム

伊東 浩(いとう ひろし)

当協会会員。定年退職後、2000年からパプアニューギニアの各地に毎年蘭の散策をしながら生態調査を行う。

2005年、エンガ州クムル・ロッジにSky Orchid Gardenを完成。2002年、藤沢洋蘭愛好会会長に就任。2002年、世界らん展組織委員、個別審査部門クラークに就任。



湖を渡る途中、胡蝶蘭アマビリスが湿地帯の大木に点々と咲いている。ツボロッジの船着き場はローカル色豊かで、水中の色とりどりの熱

帯魚が出迎えてくれる、中でもクツブレインボーフィッシュはこの固有種である。今はオーナーハウスに泊まる事が出来るが、数年前まではバンガロースタイルでトイレもシャワーも外であった。



クツブ湖の丸木船

小島の回りでは、デンドロビウム、バルボフィラム、パフィオペデラム等、多くの蘭が出迎えてくれる。私にとって自生状況を調べる貴重な場所である。

TUBO LODGEの由来は、TUGIRI部落とYOOGO部落の頭文字から来ている。夜になると、数百のホタルが青い光を放ち目を楽しませてくれる。夕食には、湖で取れた小魚、ここでしか食べられない青いザリガニなど自給自足の食材が食卓を賑わせてくれる。そしてクツブ湖では、水泳、シュノーケリング、釣りが楽しめ、熱帯魚と遊ぶことも出来る。

また、対岸に渡れば、数百年前から現在も男女別々に生活しているロングハウスがあり、熱帯雨林の小道には、スパン



デンドロビウム ラウエシー



デンドロビウム クリソプテラム



デンドロビウム コドノセパラム

グロテス等が咲き乱れている。石灰岩の崖には、風葬を思わせるレプリカの棺がおかれ、スラウエシ島のような風習が残っている。

ここは、極楽鳥(アカカザリフウチョウ)の隠れた穴場である。ロッジの丸木船で対岸に朝5時頃渡り、ものの5分ぐらい登ると、木の実を付ける大木があり、そこに毎朝、親子連れの極楽鳥がけたたましい鳴き声をあげている。20〜30羽が集まって朝食をとる姿は圧巻である。残念ながら、極楽鳥たちが舞っているのは15m程上の木の枝付近であり、カメラに納めるには、近くの木に檣でも建てなければ撮影は困難である。

まだここは、ツアー客があまり来ていないので、蘭にとつても桃源郷である。モロ空港近くには、WWF(世界自然保護基金)のトレーニングセンターがあり、PNGの自然保護活動にも寄与している。

日本・パプアニューギニア協会
法人会員紹介 第5回

「みなさん、こんにちは。」

「南洋開発株式会社です。」

〒107-0052
東京都港区赤坂2-8-14
ラミール赤坂506号
TEL03-3584-4420
FAX03-3584-4421

Nanyo Kaihatsu Co., Ltd.
Unit 3A, Section 38, Allotment 30,
Gordons, NCD, Port Moresby,
Papua New Guinea
TEL: 675-323-3877
FAX: 675-323-9108

南洋開発株式会社は、旧日商岩井(株)一現双日(株)とP.N.G.政府が1970年に共同出資して設立した総合木材開発の合弁会社Stettin Bay Lumber Co., Ltd.(S.B.L.C.社)の後方支援会社として、旧日商岩井90%の持株会社として、1972年に設立されました。

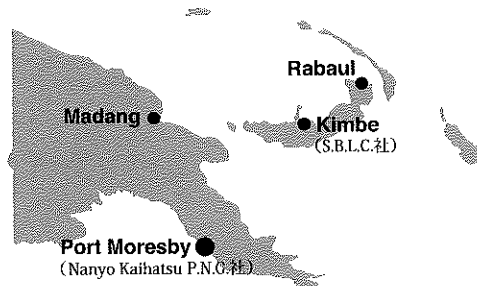
旧日商岩井(株)とP.N.G.政府の合弁会社S.B.L.C.社は、P.N.G.に於ける最も優秀な大規模木材開発会社として、主力の木材伐採輸出事業、製材生産輸出事業、更に将来の資源確保の必要性を見通し、P.N.G.に於いての初めての植林事業を3本の柱として事業を行って来ました。その事業は地元の道路、橋等の社会インフラの基盤を整備すると共に、学校、病院を作る等大きく貢献し、事業地であるWest New Britain州経済にも大変寄与し、日本との模範的合弁企業として高く評価されて来ました。

南洋開発(株)は、合弁会社S.B.L.C.社の各々の事業に対する日本人技術者(最

大時約25人)の派遣管理業務、開発事業に使用する大型ブルドーザー他諸資機材の買付け、調達、更に日本での教育、訓練の為に派遣されて来るP.N.G.従業員(総数延べ75名)の諸管理等を主たる業務として行って来ました。

然しながら、熱帯材伐採に対する環境保全団体からの批判、或は、バブル経済破綻に依る親会社旧日商岩井(株)の採算性重視の選択と集中の経営方針に依り、S.B.L.C.社の経営権が2004年に売却されました。

それに伴い、南洋開発(株)も、その経営内容を変え、新たにPort MoresbyにNanyo Kaihatsu P.N.G.社を開設し、双日(株)と業務提携し、P.N.G.、Solomon地域に於ける原木買付け、検品員の派遣、管理業務、パニラの輸入販売、或いは、昨今注目されはじめたOil Palm産Bio Diesel事業



Marketing取組み等の業務を行って居ります。

特に、パニラについては、P.N.G.政府が10年程前より重点政策として実施した農業政策の生産促進策に基づき、P.N.G.に於ける経験、人脈豊かな我社に日本に於けるMarketing促進を依頼されて来た経緯もあり、最近注力して取り組んで居る業務のひとつです。

以上、P.N.G.とのお付き合いも来年で35年の節目の年を迎えます。益々業務を充実させ、経済を通じて日本-パプアニューギニアの友好の架け橋としてやってゆく所存です。

チャリティーバザーに貢献!

ヨギ・バランパタズ (バランパタズ公使令夫人)

「アジアの祭典チャリティーバザー2006」が4月25日、アジア婦人友好会主催の下、全日空ホテルにて執り行われました。

このバザーでは、災害福祉、教育支援を目的として、アジア・大洋州24カ国が参加し、各国の料理、民芸品、民族舞踊などを紹介しました。バザー副委員長としてマウエ大使令夫人、マダム・メレワレシ・マウエも活躍して下さいました。

ニューギニア航空は成田-ポートモレスビー往復チケットを、日本・PNG旅行業協会は1週間のホテル宿泊券を寄付して下さいました。

また、バード・オブ・パラダイス・レディー・ス・クラブからは、お忙しい中、大勢の方々がお手伝い下さいました。お陰様でPNGコーナーはたいへん好評で、今回のチャリティーにたいへん貢献した、との報告を受けました。



左から 板橋様、中川様、マダム・マウエ、原様、古沢様



左から 渡部様、筆者、古沢様

事務局からのお知らせ

原田昇左右先生がご逝去されました
元日本・PNG友好議員連盟会長、元自民党衆議院議員の原田昇左右先生が7月2日、急性腎不全のためご逝去されました(82歳)。

原田先生からは当協会を立ち上げる際に、多大なるご協力を賜りました。ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

ソマレ首相はご高齢(?)にもかかわらず、

たいへんお元気でいらっしゃいました。東京国際大学での祝賀懇親会でも、谷口会長が「ソマレ首相はお年を召されないの、みなさん、見習いましょう」とおっしゃって会場の笑いをとっていらっしゃいました。(佐藤直子)

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 PNG人 1,000円
会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
*会員数 2006年6月末 集計中(後日ご連絡致します。)

□ 座 記 号 / 番号 00140-2-277582
加 入 名 / 日本・パプアニューギニア協会
問 合 せ 先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局
〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6階
(ニューギニア航空 日本支社内)
電話:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556
E-mail:info@air-niugini.co.jp